

## 市民への協働に関する意識啓発イベントの実施について

### (前回の振り返り)

分類	前回いただいたご意見(抜粋)
1 企画・準備	(1)可能であれば、内容の検討は推進会議メンバー全員で決定し、準備段階になればご協力いただける数名の方と事務局で準備を進めていく。当日の運営は是非委員の皆さんにご協力いただきたいと思う。
2 目的 (「担い手」について)	(1)「担い手」という言葉が、誰かに担われているというような感覚があるため嫌だと思う。よくまちづくりで主体的に動く人のことをプレイヤーと言うなど、自主的に動いているということが大事だと思う。 (2)担い手やプレイヤーというが誰のことを指すのか、またその方の存在について今後、ある程度この会議の中で定義することが必要だと思っている。
3 ターゲット・テーマ	(1)イベントに来てほしい人の顔が見えるようなテーマと場所を設定した企画が望ましいと思う。 (2)このイベントに参加することによって「やっぱり地域活動に関わらないといけないよね」と、特に勤労世代においても関わらないといけないよねということに繋がる機会に持っていったらいいのではないか。 (3)自分の将来を考えて「これはぜひ自分のためにやっておくべきだ」など、「自分のために」が伝わらないと、「担い手をやってほしい」と呼びかけてもなかなか人が来ないと思う。だから、その辺りの意識や人の心理を上手く突くような持っていき方をする必要があると思う。
4 その他	(1)活動のグラデーションがあるなど感じていて、緩やかな参加の仕方もあるし、ぐっと入り込んだ参加の仕方もある。活動のグラデーションというのはどんどん許容していくべきだと思っている。ライトな参加から積極的な参加など、活動の参加方法や関わり方がこの10年で変わってきたと私自身も思っているし、緩やかさがある活動の方が色々な事業に関わっている方も参加しやすいのかなと思う。

令和5年(2023年)12月19日(火)  
協働のまちづくり推進会議 資料2